

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 5年 5月 2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所 岐阜県大垣市田口町1番地

西濃運輸株式会社
氏名 代表取締役 小寺 康久

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項
第46条第1項 第46条第2項において読み替えて準用
第45条第1項
第45条第2項

第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項
する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項

の規定に基づき、

自動車管理計画を 策定 (変更)
自動車管理報告書 を作成 しましたので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	西濃運輸株式会社 代表取締役 小寺 康久	
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	岐阜県大垣市田口町1番地	
県内事業所数	5	事業所
県内自動車使用台数	312	台
自動車の使用に伴う温室効果ガス排出量	4866.384673	t-CO ₂

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2021	年度	終了年度	2023	年度
報告対象年度	2022		年度			

3 計画(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本的な方針

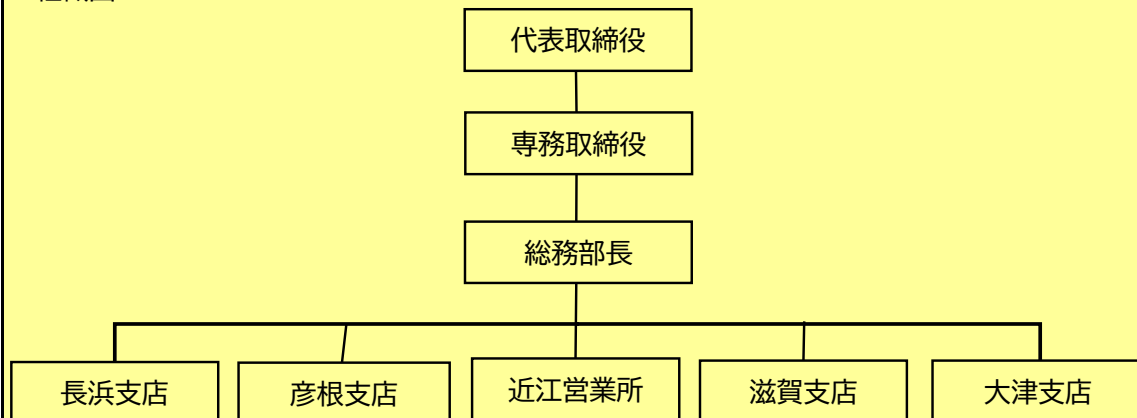
私たち西濃運輸株式会社は自動車運行上での環境配慮行動が地球温暖化や生活環境への影響を緩和する上で重要であることを認識し、運輸サービス業として次の取り組みを進めていきます。同時に私たち西濃運輸株式会社は地域に根ざした環境保全活動を通じて地域の方々とのパートナーシップを育み各営業所、支店を拠点として低炭素社会の構築に寄与していきます。

- 1、輸送の効率化・積載効率の向上などによる輸送全体の合理化を進めていきます。
- 2、ハイブリッド自動車・最新排ガス規制適合車などにより温室効果ガス排出量の少ない自動車への転換を進めます。
- 3、急発信や急加速をしないこと、アイドリングストップの実施などエコ安全ドライブを推進します。

2 取組の推進体制

責任者 専務取締役(全体計画の見直しの承認)

組織図



実施責任者：総務部長(本社)
方針の立案、計画の見直しの立案、現状確認、各事業所へ検討課題の指示

各支店長・営業所長
取り組みの実施、点検、見直し等

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標				実施結果
			現状	目標	CO ₂ 排出量削減目標	
自動車使用の合理化	輸送の効率化	運行車月次平均走行キロ数	50.6万km	48.0万km		65.2万km
	燃費向上	燃費向上	前年実績	前年実績 0.2%向上		運行車両 昨年実績4.46km/ℓ 本年実績4.56km/ℓ 0.2%改善
より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入	最新排ガス規制適合車の導入(ポストポスト新長期規制)	導入台数	89台	108台		2022年度 17台導入
次世代自動車等の比率を増やす取組						
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育	自動車の点検整備の励行	保安基準に従って実施	日常点検の実施	継続実施		完全実施
	アイドリングストップの励行	燃費向上	アイドルストップ使用の励行	アイドルストップ使用時間を5%増		集配車両 昨年実績5.79km/ℓ 本年実績5.93km/ℓ 2.3%改善
その他の取組	2～4トッ車に衝突被害軽減ブレーキ装着車輛の導入	エコ安全ドライブ	25台	34台		2022年度 10台導入
	新車購入全車に後突事故防止装置の導入	後突事故削減	42台	54台		2022年度 17台導入
				合計		

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。